「まちだ☆おいしい食べきり協力店」のご紹介

問い合わせ先 環境政策課 ☎042・797・0530

新しく『まちだ☆おいしい食べきり協力店』に認定された鶴川にあるお店『みなさんの居場所　ぼくはぼく』にお邪魔してきました。

フードバンクなどからいただいた食材を料理好きの店主・松並さんが定番メニューではなく常に新しいメニューを考案し、行くたびに新しいおいしさに出会えるお店です。非常食のカンパンも手作りトマトジャムでスイーツに変身！健康にも配慮し素材を活かした味付けです。お店のコンセプトは『もったいない』です。

↓『ぼくはぼく』スタッフの皆様

↑届いたトマトと卵はどんな料理になるかな

まちだ☆おいしい食べきり協力店一覧表（認定店舗）

	店名	住所	電話番号
1	なごみ庵　恵	鶴間 6-34-45	042・705・8085
2	カフェマーケット	能ヶ谷 1-2-1 ポプリホール鶴川１階	042・810・1117
3	ビリーズカフェ/カフェレディデイ	中町 1-17-4　中町第一ビル	042・726・8686
4	土方精肉店	中町 1-17-10	042・722・2335
5	町田市立室内プール　食品売店	図師町 199-1	042・792・7761
6	デニーズ　町田大蔵店	大蔵町 236	042・737・1105
7	餃子の王将　鶴川駅前店	能ヶ谷 2-14-1	042・734・1144
8	エコイート町田	忠生 3-1-12	042・851・9995
9	プラスハートカフェ劇場	鶴川6-7-4-110	042・813・9373
10	みなさんの居場所　ぼくはぼく	鶴川6-7-4-110	042・813・9373

『まちだ☆おいしい食べきり協力店』とは、食品ロス削減の取り組みを行っているお店を町田市が認定したものです。

お店の目印はこのステッカーです。➡ このお店を利用することで食品ロスを減らすための行動につながります。

新年は食べ物を頂く機会が多い時期。料理を工夫し、消費・賞味期限に気をつけることでごみ減量につながります。どうしても食べることができない食品は下記の『フードドライブ』開催場所に持っていくことができます。

- 町田市立室内プール
- リサイクル広場まちだ（地域リサイクル広場を除く）
- 市庁舎7階環境政策課窓口（2月1日受付開始）

お問い合わせ 町田市社会福祉協議会（フードバンクまちだ）☎042・722・4898

もったいない！

3R（リデュース・リユース・リサイクル）に『もったいない』という言葉を加えることで、ごみ減量だけではなく限りある資源を大切にする意味が込められていると思います。

環境に負担をかけない生活を送ることで、持続可能な循環型社会を目指すことにつながります。

今年は『もったいない』を合言葉にごみの減量を意識してみませんか？

家庭で使用したPCR検査、抗原検査キットは燃やせるごみに出してください

探してみよう！

まちだの生きものを紹介します！～冬に見られる野鳥たち～

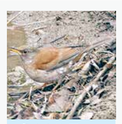
問い合わせ先 環境共生課 ☎042・724・4391

市では、2019年度から市民協働の生きもの調査「生きもの発見レポート」を募集しています。2021年度は市民のみなさんから約1,500件というたくさんの情報をいただきました。ありがとうございました！

今回は2022年1～2月に届いた136件の野鳥のレポートの一部を紹介します。シロハラ、ジョウビタキ、ツグミ、アオジなど、様々な野鳥が市内の平野部や緑地、里山などで冬を越していることがわかります。また、タシギ、アリスイなどの珍しい鳥も報告されています。様々な野鳥が見られるまちだの自然環境を、大切に守っていきたいですね。

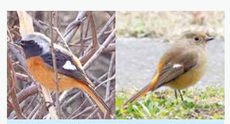
このように、生きもの発見レポートは、まちだの生きものの生息や自然環境を把握することに役立っています。生きものを見かけたら、写真に撮って、まちピカ町田くんで情報を送ってください。みなさんの参加をお待ちしています！

写真はすべて、生きもの発見レポートで届いた情報です



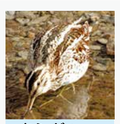
シロハラ：全長約24㎝

・低地から低山の林の中にいる。
・姿をみせることは少なく、落ち葉の中をガサゴソと餌を探していることがある。



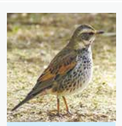
ジョウビタキ（左♂、右♀）：全長約15㎝

・低地から山地にかけて、畑や川原、公園、庭、林縁など少し開けた場所で見かける。
・時々おじぎをして、尾を震わせる。



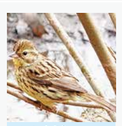
タシギ：全長約26㎝

・水田や湿地、川岸などに渡来し、日中は身を潜めていて、夕方から活動する。
・長いくちばしを土の中に入れて、餌をとる。



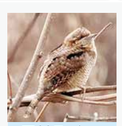
ツグミ：全長約24㎝

・秋は山の方にいるが、次第に畑や芝生など開けたところでも姿を見る。
・そり返るように胸を張って、立ち止まっていることがある。



アオジ：全長約16㎝

・冬は低地におりてきて、市街地の公園や庭でも見られることがある。
・地上におりたち、餌をついばんでいることがある。



アリスイ：全長約17㎝

・キツツキの仲間。褐色と黒と灰色の複雑な模様。
・地上や朽ちた木などで、長い舌を伸ばしてアリをとる。

マナーを守って、楽しく生きもの観察！

「生きもの発見レポート」参加方法

事前準備 お持ちのスマートフォンに、スマホアプリ「まちピカ町田くん」をダウンロードします。

①市内で野生の生きものの写真（近景と遠景）を撮影します。
②スマートフォンで「まちピカ町田くん」を起動します。
③「メールで通報・レポート」を選択します。
④アプリの流れに従って、写真を２枚（近景と遠景）添付します。
⑤発見場所の位置情報を取得します。
⑥通報内容で「生きもの発見レポート」を選択します。
⑦メールで送信！（メール送信画面が起動します）

届いたレポートは、専門家に確認を依頼しますので、1～2か月後にメールで種名をお知らせいたします。写真やコメントは、町田市ホームページやイベント、刊行物等でまちだの生きものとして紹介いたします。

調査の詳細は、町田市ホームページで！

まちピカ町田くんのダウンロードは、各ストアからお願いします。

iPhoneをお使いの方 App Store

Androidをお使いの方 Google Play

まちだエコ宣言登録事業者の取り組み

問い合わせ先 環境政策課 ☎042・724・4386

「まちだエコ宣言」は、環境に配慮した活動を行うことを宣言した市内事業者の取り組みを、市が広く市民の皆さんに紹介し、さらなる活動の広がりを応援していく制度です。

2022年11月末時点で、113店・事業者が登録しています。今回はこの中から、町田市中町にある「ワールド電器」の取り組みを紹介します。

有限会社ワールド電器ってどんな会社？

ワールド電器は、町田市内で開業されて56年になる、まちの老舗電器店です。「まちだエコ宣言事業者」として、自らの環境配慮行動を実践しながら、地域のお客様から親しまれる電気のプロとして、お客様が無理なく取り組めるような省エネ機器の普及に携わっておられました。

エコ宣言登録事業者としての取り組み実績

- 「東京ゼロエミポイント」を活用して省エネ製品の販売促進を図る
- レジ袋の削減
- 両面コピーや裏紙の利用による紙の削減
- シーリングファンを活用しての冷暖房の省エネ運転
- 自転車利用によるCO_2排出の削減

まちだエコ宣言ホームページリンク

他の事業者の取組等がご覧いただけます。

取り組みの工夫

ワールド電器の店舗の前に立つと、昔ながらのまちの電器屋さんといった風情に親しみを感じました。

昨今は、個々の電気製品販売だけでなく太陽光発電も含めてトータルでお客様のライフスタイルに関わる機会も多いようです。

そんな中、今、最も力を入れておられるのが東京ゼロエミポイント。「残念ながら、この制度をご存じないお客様が多いです。そんなときに私たちが積極的にお知らせしていますね。」

実際この制度をお客様が知れば、ぜひ利用したいとなるよう。今年は特にLED照明が追加されて人気になっているそうです。

手続きについても、お客様に代わって行うサービスもされており、事業者としてもこの制度に大きな期待を持っておられます。

東京ゼロエミポイント、今年度もまだ申請できます。ぜひ相談してみては？

東京ゼロエミポイントについて

東京都では、家庭の省エネ行動を促すため、より省エネ性能の高いエアコン、冷蔵庫、給湯器、LED照明器具への買換えに対し、商品券等に交換可能な「東京ゼロエミポイント」を付与する事業を実施しています。詳細については、東京都のホームページからご確認ください。

東京ゼロエミポイント事務局ホームページリンク

家庭で取り組む地球温暖化対策

問い合わせ先 環境政策課 ☎042・724・4386

家庭で取り組む地球温暖化対策のヒントを紹介します。

省エネ豆知識 周りの温度を上げて暖かく

私たちが感じる、寒い、暑い、涼しい、暖かいといった体感は、温度や湿度以外に、周囲の物の表面温度（放射温度）にも左右され、体感温度≒（室温＋放射温度）÷2の関係があります。たとえば、室温が20℃でも、周囲の温度が14℃だと、体感温度はおおよそ17℃に。冬は、じゅうたんを敷いたり、分厚いカーテンを閉めたりして、周りの物の温度も上げると暖かく過ごせます。

出典：2022家庭の省エネハンドブック「チョットの工夫で家計も地球も笑顔に」 東京都環境局

わたしのエコ宣言

町田市では、市民のみなさんに、毎日の生活の中で地球温暖化対策に取り組んでいただく、わたしのエコ宣言活動を推進しています。

家庭ですぐにできる地球温暖化対策（10項目）の中から、実施する取り組みを選び、宣言し、実行します。

10項目の取り組みや宣言書は、下の二次元コードから町田市ホームページをご覧ください。

※環境問題について、市内事業者として取り組んでいただくことを「まちだエコ宣言」、町田市民として取り組んでいただくことを「わたしのエコ宣言」と言います。

宣言した方は、環境政策課へ提出をお願いします。

メール mcity5640@city.machida.tokyo.jp
FAX 050・3160・2758
郵送及び持参
〒194-8520　町田市森野2－2－22
町田市役所 環境資源部 環境政策課
わたしのエコ宣言担当宛

※直接持参いただいた方には、特製ステッカーをプレゼントします。

わたしのエコ宣言ホームページリンク

マイボトルを使いませんか？ アプリで給水スポットや給水量がわかります

問い合わせ先 環境政策課 ☎042・724・4379

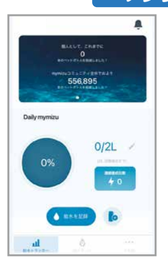
アプリ「mymizu」

環境に良いコトをしているのに、なかなか目に見えなくて悲しい思いをしていることはありませんか？

アプリ「mymizu（まいみず）」は、マイボトルへの給水量や、どれくらいペットボトルを削減したのか等を記録できたり、給水スポットを検索したりできるアプリです。

環境に対するあなたの日頃の努力を見える化して、達成感につなげてはいかがでしょうか。

アプリ画面



アプリのダウンロードはこちらから

あ・わ・せ・て 市内施設に給水器を続々と設置しているのん！

- 町田市役所 1階南口
- 町田市バイオエネルギーセンター 2階エントランス
- 町田薬師池公園 四季彩の杜 西園 インフォメーション棟内
- 町田市立総合体育館 地下1階トレーニングルーム前
- 成瀬クリーンセンター 1階
- 成瀬クリーンセンターテニスコート クラブハウス内
- 野津田公園 町田GIONスタジアム内 1階
- 土木・公園サービスセンター 1階
- 堺市民センター 2階

市内施設に設置した給水器の給水可能時間を、アプリ「mymizu」にてお知らせしています！